

## 人間ドックの廃止について

広島市立病院機構では、四つの病院の役割分担の明確化と連携の強化を図るため、平成27年8月に広島市民病院で行っていた人間ドックを舟入市民病院に移管し、以来、皆様や市民の方々の御支援をいただきながら、オプションの充実を図るなどして業務を行ってまいりました。

広島市において当院の平成30年度の業績評価が行われ、その中で当院が公立病院として人間ドックを提供することの必要性について検討する必要がある旨の意見が出されました。

これを受けて、公的医療機関に求められている役割、市内の人間ドック健診施設の状況、その他について多角的に検討を重ねた結果、当院の人間ドックは廃止することも止むを得ないと判断するに至りました。

廃止の時期は、令和3年3月末です。(なお、原爆ドックについては、今後とも続けます。)

これまで舟入市民病院で人間ドックを受診されていた方、また御支援していただいた方、関係者の皆様には心から感謝申し上げますとともに、お礼申し上げます。

なお、今まで舟入市民病院で人間ドックを受診されていた方で御自身の健診データが必要な方は、画像データを無償でお渡しすることになっています(お申出があった場合、後日送付することを考えています。)

また、健診結果(紙)については、過去の受診時に御自宅等にお送りしています。